おらが村にも演劇を
「劇団公演〝炎〟」に取組む

横越村連合青年団

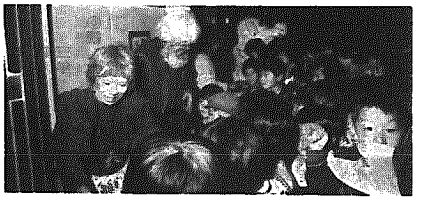
村連合青年団（小田弘一団長）は、「テレビやマンガ本に支配されている現代の子どもたち、その子どもたちに生のおしばいを見てもらおうと去る11月19日劇団〝炎〟の公演に取組みました。

劇団が本村に入るのは、五年前に同じく村連青が企画した〝わらび座〟公演以来のことと、一ステージ五〇万円の公演料だけに入場者集めにはそうとう苦労があったようだ。

子どものいる世帯を中心に一軒一軒歩き廻り車にスピーカーを付けての宣伝活動、村教育委員会、農業協同組合、保育園母の会、の後援もあって、当日は雨天にもかかわらず、五八〇名の入場者で会場の横小体育館をうめました。

内容もアルプスの少女ハイジということもあって真剣に見いっていた。公演が終ってからも、役者達が子どもたちに一人一人握手のサービス。

入場者の中には、「たまには家庭サービスをしなくてはネ」と子どもを連れてのお父さんの姿も多く見うけられました。



子ども達と心よく握手をする出演者

武藤マツミさん 表彰さる
母子保健活動に奔走

去る十月三十日、武藤マツミ（横越・55才）＝写真＝さんが、「昭和五十三年度新潟県母子保健推進大会」で、優秀な母子保健推進委員として表彰されました。

武藤さんは、夫といっしょに店の仕事のかたわら、この制度ができた昭和四十三年から、この仕事を引受け、妊産婦や乳幼児のいる家庭を訪問ミルクの支給の手伝いや、保健所や村が実施する保健指導や健康診査、母子保健に関する学級、講座への参加を勧める等、地域に密着した活動が認められたものです。これより先、昭和五十一年には、母子愛育会十周年記念にも感謝状が送られています。

これらのほか武藤さんは、村の連合婦人会の役員（副会長、会計）としても活躍しています。海外旅行の経験もあります。昭和四十八年には観光で香港へ行き、昭和五十一年には「第二次全国農業婦人訪中団」の一員として、中国訪問をしています。

鶴ケ島（横越上地先）にグランドを
木津部落が積極的にとりくみ

数年前から野球関係者はじめ、木津部落等が強く望んでいた河川敷（通称、鶴ケ島）を利用してきたが、二本木グランドは長期間の利用はむずかしい事から河川敷利用を強く望んでいた。

このグランドが出来ると、焼山、沢海に続き野球を目的とした河川敷グランドは三つになる。はやくも来年の大会の話しが出るなど、一日も早い完成を望んでいる。

作業が行なわれた。

当日は、木津部落から野球関係者はじめ約八十名が動員され、背高以上もある茅や柳の木を伐採した。今後は測量整地が予定されており、完成は来年の見込みです。

木津部落ではこれまで、二本木グランド、塚田牛乳工場建設予定地（塚田グランド）等を利用してきたが、二本木グランドは狭すぎる事と塚田グランドは長期間の利用はむずかしい事から河川敷利用を強く望んでいた。

横越村村勢要覧の訂正について

今年三月に発行した要覧について八ページ工業出荷額の単位千円を万円に訂正して下さい。

『老人意見発表大会』から
一人ぐらしの私

小須戸町矢代田　田沢タツヨ（72才）

去る十一月七日、横越村公民館において、中蒲原郡老人クラブ連合会主催による「老人意見発表大会」が開催された。

亀田、村松、小須戸、横越の各町村の代表者八名がそれぞれ意見発表を行った。その一人小須戸町矢代田、田沢さんの意見を聞いて下さい。

（紙面の都合で一部カットさせていただきました。）

一家を持つ忙がしさ淋しさはない

私は、子宝に恵まれず、主人の兄の子を二才の時養子にもらい、育ててきました。子供は学校卒業後就職、その後結婚しましたが、勤めの関係で別居しています。

主人はもと鉄道員で、単身赴任六年、その間は官舎生活私は家を守り、母の世話、赴任先の主人のところを往復し又農業に従事し、二世帯の中心となって過してきました。

主人の退職後二、三年は農業をしていましたが、二人とも体力がつづかず、農業をやめ、今は年金生活をしています。今から五年前、主人と死別ひとり生活となりました。

現在は猫との生活です。猫ではあるが、私の大切な話相手です。

私の信条とでもいいましょう、一寸申し上げます。

①どなたとも明るく、気軽に応待し、仲間をたくさんもつこと。

②人様のためになることなら話題にし、不利になることは絶対に口にしない。

③人様に頼らない。

④頭の体操と思って家計簿をつけ、現金と合せたりしています。

⑤趣味を通じた仲間づくりをし、園芸クラブで、朝顔、菊、小さい鉢物を作り、又人形づくりもやっています。体を錆付かないように、又明るい生活をするために、民謡をやっています。

私は若い時から病み上手ですが、精神力で人様に見せますいとつとめてきました。

今から三年前の大晦日から一週間軽い腸閉塞にかかりました。正月なので楽しい気分を乱したくない為、また都合もあって来られなかった仲達にも知らせず、村の親戚に来ていただいて頑張りました。

又、今は十才もお若いグループに入り、月一度の集りに高令者の生活態度、家庭内の人間関係等話し合い、お互にアドバイスをしあい、若い者から嫌われないようにつとめています。

毎日のように、あの集まりこの集り、又親戚づきあいと一家をもつ忙しさで、淋しさを感ずる時間もない私なのです。

ホームヘルパーの方が「何度来ても留守でした、でも元気なので安心しましたよ」と気を配ってくれます。有難いことです。

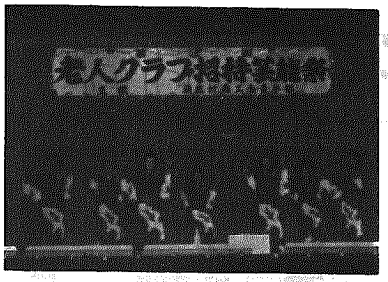
それぞれの家族によりちがいますが、子ども達があれこれ世話してくれる方々もあると思います。心よくそれを受けて喜ぶことが大切だと思います。

此頃は、たまには主人の残したったない句を読み返し、ありし日を偲びつつ、又私も拙い句をひねったりする時もあります。

◎呼べば来る若き家族のいることが独りぐらしも淋しくもなし

村商工会主催

老人ク招待 芸能祭開かる
カラオケ大会・優勝は澁谷さん



去る十一月五日（日）横越小学校体育館に於て村内の老人クラブを招待した芸能祭が商工会青年部の主催で盛大に開催された。当日秋晴れの中、座ブトンを背に老人クラブの人達が続々来場した。

最初に挨拶があり、奇術、民謡、カラオケ大会の後、オークション（バナナミカンのたたき売り）が行われた。当日BSNの人気アナ大倉修吾氏を迎えたこともあって、婦人層が目立ち、会場には九〇〇名近い人々がこの芸能祭を楽しんでいた。

本日のメーン行事のカラオケ大会には二十名余が自慢ののどを競い農協勤務の渋谷建文さんが優勝した。

なお、この芸能祭開催に当って役場、農協や村内事業所等より多大なご寄付を賜った更にこの行事に関連して行った慰まれない子への募金に対し、ご来場の方々より寄せられたご厚意にこの紙上を借り厚くお礼申し上げます。

大江山横越親善俳句大会
席題一位は野崎芦舟氏

去る十一月二十四日、横越村公民館において「大江山横越親善俳句大会」（主催、横越小阿賀吟社）が開催された。二十名余の出席があった成績は次のとおりです。

兼題
一位　坪谷十九一
二位　野崎芦舟
三位　佐藤幸子

一句餞吟
一位　宇野多収（木津）

席題
一位　野崎芦舟
二位　小林竹生
三位　今井夫子

高点句一位　今井夫子（木津）

・一生をボーナスも無き農に生く

・願ごと校に結んで神発つ日

Xマスパーティのご案内

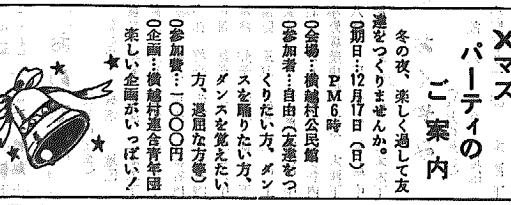
冬の夜、楽しく過して友達をつくりませんか。

○期日…12月17日（日）PM6時

○会場…横越村公民館

○参加者…自由（友達をつくりたい方、ダンスを踊りたい方、ダンスを覚えたい方、退屈な方等）

○参加費…一〇〇〇円

○企画…横越村連合青年団

楽しい企画がいっぱい！